

同窓会報

NO.56
2013.3

発行 — 〒992-0039 山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会 事務局 TEL 0238-22-0091 FAX 0238-22-0092 <http://all-kunori.net/>



飛翔する小浅星子さん（平成13年卒）

W杯女子ジャンプ 蔵王大会 H25.2.10

楽しく学び合う学園に

同窓会長 佐藤せつ
(S二十三年卒)

同窓会の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から早二年を経過しようとしています。追い討ちをかけるかのように、大雪、大雨、竜巻などの災害が各地に起きました。何か気象に異変があるのではないかと心配になります。さらに大阪の市立高校生の死は、部活動のあり方について、なぜ、どうしてと深く考えさせられました。人間一度しか生きられない命を大切にして欲しかった、未然に防げなかつたのかと残念に思います。

母校の卒業生や在校生たちと話す機会を得たので、高校生活について尋ねてみました。

私たちも九里学園で良かつた。学校生活も充実していたし、部活動も苦しい時もあつたが楽しかった。ボランティア活動の体験もできだし、何年経っても友情は堅く結ばれている。会社で困った時も、友達人と一晩語り明かすこともしばしば、お互いに助け合っている。

という話を聞き、嬉しく安堵いたしました。さすが伝統ある九里学園高等学校「礼」と「譲」の精神が脈々と受け継がれていることを実感し、改めて母校に感謝すると共に誇りに思います。

最後に母校の発展と会員の皆様の一層の活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

総会報告

豊富な話題と絶妙な語り

実行委員長 長谷部 恵美子
(S42年卒)

平成二十四年度は、六月三十日、東京第一ホテル米沢の会場での開催となりました。担当は、「2・3」のつく学年でした。

この学年は、活動的な方が多く、研修会の講師をきめるのにたくさんの方々の名前が挙がりました。その中から今回は、YB Cの芳賀道也氏を迎えての研修会となりました。

元々がアナウンサーとあって、話術も話題も豊富でした。取材先で出会った方々の話や大人気となつた「方言かるた」作りの裏話など、絶妙な語り口で爆笑の連続でした。

懇親会にもご参加いただき、ゲームの出題から参加賞の準備までと、最後までみなさんを楽しませてくださいました。

アトラクション

では、九里学園在籍生による「ダン



学園近況

めざせ！オリンピック！

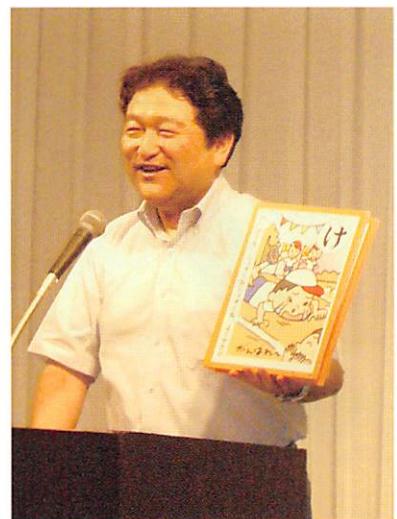
女子ジャンプ 小浅星子さん(H13年卒)

学校長 九里廣志

私は夏は陸上競技、冬はスキーの新聞記事の記録を見るのが楽しみです。本校生や卒業生の活躍がたくさん載っているからです。同窓生の皆さんも、きっと同じ思いででしょう。

二〇〇一年卒業の女子ジャンパー・小浅星子さんが、国内の今季開幕戦で二勝を上げて、ようやく派遣の六人枠に入り、ドイツで開催されるワールドカップ大会に参加するとなつたとの記事を見つけました。最近は高校一年十六歳の高梨沙羅選手が世界一を獲得して注目の的になっているため、国民の関心も高くなつてきました。その先鞭を付けた頃の選手が小浅さんたちです。

現在は、「ライズジャンプクラブ」というクラブチームで活動をしています。スポンサーがない彼女は、アルバイトなどで練習や大会参加の活動資金を得て頑張っていると聞きます。ソチオリンピックで正式種目となつた女子ジャンプです。是非、本校初のオリンピック選手に期待しています。多くの同窓生の皆さんからも、彼女の応援よろしくお願いいたします。



細やかな気配りが 長寿番組をつくる

芳賀さんの
講演を
聞いて

芳賀道也さんのお話の中で、特に印象に残っているのは、山形県の方言をカルタで面白く、わかりやすく紹介したところです。読み手のCDには方言の解説もあり、カルタを通して、たくさんの人が山形の方言の温かさに触れられると思いました。

また、人気番組「はじめてのおつかい」の裏話では、何家族かのものを撮影し、一番面白いものを放送するのだそうです。放送されなかつた家族には、本物と全く同じようにナレーションを入れ、DVDとして渡しているそうです。そうした細やかな気配りが、長寿番組として続いているのだろうと思いました。

(H23年卒 鈴木沙有理記)

お久しぶりです 皆様



女子ジャンプ
小浅星子さん来校



女子ジャンプスキーリー選手、小浅星子さんが国内大会が終了した平成二十四年三月に実家に帰省された際に、校長先生のお誘いで母校へも足を運んでくださいました。お忙しい中での懇親会でしたが、懐かしい先生方との再会もあり話が弾みました。

高校時代の練習は、もっぱら陸上競技部と一緒にしましたが、陸上部よりハードなメニューを平気でこなしていたそうです。今でも飛ぶのは怖いですが、飛んだ時の爽快感はそれは気持ちが良いと笑っていました。

今は、アルバイトをしながらの競技生活ですが、まだまだ飛んでいたい、出来るところまでやりたいと意欲を語ってくださいました。



遠藤利子先生

今はいけばなど日本画を楽しんでいます。いけばな教室に通う他、交代で花をいけ市施設で一緒に花をいけて、その喜び笑顔に元気を貢っています。日本画も発表会が年に

在職させて頂きました。その間皆様からたくさん思い出を頂き、私の貴重な財産となっています。どれもこれもすべてが楽しい思い出です。私は退職後間もなく、福島市に転居しました。米沢ではたくさんの方に声をかけていただけでしたが、こちらは誰一人知る人いませんでした。どちらから積極的に出て行くと皆様親切で、色々な方と知り合いになります。

今はいけばなど日本画を楽しんでいます。いけばな教室に通う他、交代で花をいけ市施設で一緒に花をいけて、その喜び笑顔に元気を貢っています。日本画も発表会が年に

今はいけばなど日本画を楽しんでいます。いけばな教室に通う他、交代で花をいけ市施設で一緒に花をいけて、その喜び笑顔に元気を貢っています。日本画も発表会が年に

在職させて頂きました。その間皆様からたくさん思い出を頂き、私の貴重な財産となっています。どれもこれもすべてが楽しい思い出です。私は退職後間もなく、福島市に転居しました。米沢ではたくさんの方に声をかけていただけでしたが、こちらは誰一人知る人いませんでした。どちらから積極的に出て行くと皆様親切で、色々な方と知り合いになります。

毎日こんな日々の繰り返しが大好きです。お近くに御出での節は、どうぞ声をかけてください。お待ちしております。

一成 長一

顧問 鈴木 幸英

私たちのモットーは「心をひとつにする・応援されるチームになる・人として成長する」ことである。

短い練習時間の中で、より早く走り、受けやすいボールを投げ、的確にシュートする。時々は失敗する時もあるが、それは自主トレで修正してゆく。厳しく辛いが、仲間と一緒にだから耐えられる。結果は、試合に表れる。先生や保護者や友人たちに支えられていることに感謝しながら、充実した日々になるよう、部員みんなで練習に励んでいきたい。

先輩が築いてくれた「九里女子バスケット部の歴史と伝統」のためにも！

福島へきて 新しい仲間が 増えました

同窓生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

私は九里学園に三十三年間を頂きました。その間皆様からたくさんの思い出を頂き、私の貴重な財産となっています。どれもこれもすべてが楽しい思い出です。

また足腰の老化防止に体操を出し、お茶の仲間が増えました。またウォーキングのイベントにも参加して楽しんでいます。転居後間もなく、縄文遺跡を探訪する集いに初めて参加し、すっかりはまってしまいました。知らない街並みを楽しみ、知らないことを知るそんな所が足を鍛えると共に楽しいことです。



女子 バスケットボール部



山形県産にこだわり

常に耳を澄まして

銘酒を造る

職場訪問

杜 氏

長沼真知子 さん
(H11年卒)



週刊誌の記事がきっかけで、杜氏というお酒を造る職業の同窓生と出会うことができました。

長井市十日町の長沼酒造は「誉小桜」で知られています。その蔵元の四代目が長沼真知子さんです。

高校時代は、陸上競技部でインスターハイへ出場したこともあります。「かなり厳しい練習で部活は苦しかったけれども、それ以上に得るものがあった」と当時を振り返っておられました。

家業である酒造店を継ぐと決心したのは、高校二年の時だったそうです。東京農業大学の醸造科へ進学し、酒造りの基本を学び、実家へ戻つて昔ながらの手作業でおいしいお酒を造られています。

週刊誌の記事がきっかけで、杜氏と出会うことができました。

長井市十日町の長沼酒造は「誉小桜」で知られています。その蔵元の四代目が長沼真知子さんです。

高校時代は、陸上競技部でインスターハイへ出場したこともあります。「かなり厳しい練習で部活は苦しかったけれども、それ以上に得るものがあった」と当時を振り返っておられました。

週刊誌の記事がきっかけで、杜氏と出会うことができました。

長井市十日町の長沼酒造は「誉小桜」で知られています。その蔵元の四代目が長沼真知子さんです。

高校時代は、陸上競技部でインスターハイへ出場したこともあります。「かなり厳しい練習で部活は苦しかったけれども、それ以上に得るものがあった」と当時を振り返っておられました。

週刊誌の記事がきっかけで、杜氏と出会うことができました。

長井市十日町の長沼酒造は「誉小桜」で知られています。その蔵元の四代目が長沼真知子さんです。

高校時代は、陸上競技部でインスターハイへ出場したこともあります。「かなり厳しい練習で部活は苦しかったけれども、それ以上に得るものがあった」と当時を振り返っておられました。

家業である酒造店を継ぐと決心したのは、高校二年の時だったそうです。東京農業大学の醸造科へ進学し、酒造りの基本を学び、実家へ戻つて昔ながらの手作業でおいしいお酒を造られています。

週刊誌の記事がきっかけで、杜氏と出会うことができました。

長井市十日町の長沼酒造は「誉小桜」で知られています。その蔵元の四代目が長沼真知子さんです。

高校時代は、陸上競技部でインスターハイへ出場したこともあります。「かなり厳しい練習で部活は苦しかったけれども、それ以上に得るものがあった」と当時を振り返っておられました。

週刊誌の記事がきっかけで、杜氏と出会うことができました。

長井市十日町の長沼酒造は「誉小桜」で知られています。その蔵元の四代目が長沼真知子さんです。

高校時代は、陸上競技部でインスターハイへ出場したこともあります。「かなり厳しい練習で部活は苦しかったけれども、それ以上に得るものがあった」と当時を振り返っておられました。

(S五十二年卒 高橋 有子 記)

九里祭参加 同窓生作品展

チキンライス店

9/1

ベテランの方は自分が使用した着物をほどいて今風のドレスにリフォームしていらっしゃいました。書道の県展入賞の作品、そして毎年の飯豊の方々の作品と並びました。若い卒業生は、チキンライスを作り出店しました。



(S36年卒 小口 信子 記)

ベテランの方は自分が使用した着物をほどいて今風のドレスにリフォームしていらっしゃいました。書道の県展入賞の作品、そして毎年の飯豊の方々の作品と並びました。若い卒業生は、チキンライスを作り出店しました。

ほら、また手軽で、求める方々も多数いらしたようでした。デザインはアニメの専門学校の現役の学生さんということでした。

また現役の芸工大の学生さんの大きなパネルに描かれた、おとぎ話の国から出てきたような絵にビックリしました。可愛らしい写真パネルにも安らぎを感じました。

ベテランの方は自分が使用した着物をほどいて今風のドレスにリフォームしていらっしゃいました。書道の県展入賞の作品、そして毎年の飯豊の方々の作品と並びました。若い卒業生は、チキンライスを作り出店しました。

ベテランの方は自分が使用した着物をほどいて今風のドレスにリフォームしていらっしゃいました。書道の県展入賞の作品、そして毎年の飯豊の方々の作品と並びました。若い卒業生は、チキンライスを作り出店しました。

ベテランの方は自分が使用した着物をほどいて今風のドレスにリフォームしていらっしゃいました。書道の県展入賞の作品、そして毎年の飯豊の方々の作品と並びました。若い卒業生は、チキンライスを作り出店しました。

ベテランの方は自分が使用した着物をほどいて今風のドレスにリフォームしていらっしゃいました。書道の県展入賞の作品、そして毎年の飯豊の方々の作品と並びました。若い卒業生は、チキンライスを作り出店しました。

クラス会



H24.11.25 S44年卒業家庭科
担任 平賀 秋夫先生



H24.10.6 S47年卒業2組
担任 五島 訓二先生



H24.11.3 H4年卒業4組
担任 町田 悅子先生

同窓生の集いは
6月29日(土)です。
どうぞおこしください。

ひたすら走り込む毎日だった スキーパーク（クロスカントリー）

鈴木 真由美さん
(旧姓 安藤 S59年卒)



現在
吾妻スポーツ
勤務



この原稿依頼の電話を受けたのは、娘のセンター試験の前日でした。

へ招集され参加したのですが、今までの練習量とは比べものにならない走り込みが待っていました。毎日が辛くて、早く帰りたくて、誰もいない食堂で一人泣いていた事もありました。密かに顧問の先生を恨みながら：（落合先生と今は亡き遠藤武宏先生です。）放課後は学校から斜平山の麓の地蔵園まで、毎日暮れなず

し涙に変わり、また頑張ろうと思うこと
ができました。

今、高校生のみなさんも、部活や勉強
に頑張っていると思います。まわりの友
達、先生、家族など、自分を支えてくれ
ている人達に感謝の気持ちを忘れず、自
分の力を信じて、高校生活を楽しんでほ
しいと思います。

アトリエ風に

長岡先生遺作展

24年
11月



平成二十四年十一月十三日から一週間、九里学園教育センターホール二階を会場に、平成二十三年七月に亡くなられた長岡直浩先生の遺作展が開催されました。先生のお好きだったジャズが流れ、アトリエ風に作られた会場には常日頃から描いていらした大作がところ狭しと並び、その一角にはご指導された同窓生の作品も多数展示され、会場に彩りを添えていました。会期中、沢山の方々に足をお運びいただきました。

最終日には近くの招湯苑に会場を移して、先生に想いを馳せながら、偲ぶ会が催されました。

鷹山の改革は、実学を基として未来を見通す力があつたという。九里の教育思想も織り込んで語られています。同窓生の皆様是非読んでみて下さい。市内書店・観光施設にてお求め下さい。



加藤和夫先生
御逝去(享年八十二歳)

加藤和夫先生が平成二十四年八月二十日に逝去されました。

先生は昭和三十二年から平成四年までの三十五年間社会科の先生、また、教頭・校長先生として九里学園高校を支えてこられました。小さな生徒集団で自治が出来るブロック制。一人一人の特性を伸ばす「自主研究」を課題とするなど、私学教育の魁となる試みを先生方とともに推進してこられました。

昨年、同窓生の西山佳歩さんがデザインした、九里とみ先生をモチーフにしたキャラクター「とみちゃん」が缶バッジとして登場しました。デザインは三種類。「礼」と「譲」をあしらつたものと、多くの方に馴染みのある松葉と梅の校章を髪飾りにしたとみちゃんの横顔です。同窓会総会や九里祭で販売しています。また、学校でもカフェにて取り扱っておりますので、是非お求めください。

価格は、一個百円です。



「退職したらキャンピングカーで全国にいる卒業生を訪ねる旅をしたい。」といつておられました。しかし、糖尿病との長い闘病生活となられ逝去されました。ご教授に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

さだまさしの「案山子」という曲を知っていますか?遠くに暮らす弟を案じて作られたものですが、送り出す側の心境に共感し歌詞の一つ一つにうなずいてしまいます。

今年は二百余名が母校を巣立ち、社会へと立っていきます。それぞれが夢に向かい力強い一步を踏み出して欲しいものです。

アドレス <http://all-kunori.net/>
(2) 封書、はがき (表紙の住所をご覧下さい)
(1) メール あて先
dousou@tw.kunori-h.ed.jp
投稿はメール、封書、はがきでお送り下さい。

ALL
くのり
ねっと



★校舎の南側、体育館の西にありました「洗心亭」が老朽化により解体され、駐車場になりました。ご利用ください。

★同窓生の集い(総会)は、6月29日(土)です。

その運営当番は卒業年が4と5のつく学年 昭和34、35、44、45、54、55、平成4、5、14、15、24、25年です。

詳しくは別紙を参照の上、申し込みいただけますようご案内いたします。また、左記アドレスからもお申込みいただけますのでご利用ください。

